

たるところ伸二

再出発！

頑張る人が幸せになる社会へ！



私たちも応援します!!

中道改革連合 野田 佳彦
共同代表 (第95代内閣総理大臣)

中道改革連合 斉藤 鉄夫
共同代表

愛媛県知事 中村 時広

宮城県知事 村井 嘉浩

静岡県知事 鈴木 康友

小池 百合子

地元・寝屋川市をはじめとする 地方自治体の充実と強化に向けて

水道をはじめとする生活インフラ、介護保険、学校教育など、私たちの日々の暮らしを支える基盤の大半は、地方自治体によって担われています。

この現実を深く見据え、私は六年前、政界の第一線から距離を置き、民間企業を創業しました。そして、「小さくて強い中央政府」と「充実した地方自治体」という一貫した理念のもと、民間の立場から改革に取り組んでまいりました。総務大臣としての経験は、その思いをいっそう確かなものとししました。

とりわけ地元・寝屋川市においては、急速に進展するAI技術を積極的に活用し、より高度で効率的な市政運営を実現する先進的な自治体を目指したいとの意向を受け、市との連携プロジェクトを推進してきました。



寝屋川市とのミーティング風景

この取り組みを寝屋川市にとどめることなく、全国へと広げていくためには、人口減少とAI技術の進展という、時代の大きな潮流に正面から向き合う必要があります。そうした認識のもと、私はここに再出発を決意いたしました。

中道勢力の結集と拡大に向けて

円安や物価高の進行により、社会の格差は拡大し、日本社会の分断は一層深刻さを増しています。にもかかわらず、国内外の政治状況は、その分断を食い止めるどころか、むしろ助長しているように映ります。

私の原点である「努力が報われ、頑張る人が幸せになる社会」から、日本が次第に遠ざかっていく — その現実、強い危機感を覚えてきました。極端な主張と誹謗中傷が横行する政治の姿は、決して国民の未来に資するものではありません。

分断を煽るのではなく、現状を冷静に直視し、多くの国民が共有する常識に立脚しながら、一步一步前進していく。そのためには、対立する両極の意見を調和の中で乗り越える「中道」という王道を、

政治の中にいかに確立していくかが問われています。

実のところ、その姿は、例外を除けば多くの地方自治体において、すでに相当程度実現されています。

しかし、今回の突然の衆議院解散・総選挙は、国民生活や自治体の実情を顧みない党利党略によって行われ、分断社会を象徴する出来事となりました。

こうした状況の中で「中道改革連合」が結党され、その強い要請を受け、熟慮を重ねた末に、私は中央政界における「中道勢力の結集と拡大」に全力で取り組む決意を固めました。

ここに、改めて再出発を宣言いたします。

Facebook更新中。ぜひご覧ください。

たるところ伸二

検索



(掲載責任者) 山口 寛司 寝屋川市太美元町6-9
(印刷所) (株)ヒューマンメディア 大阪市北区天神橋3丁目2-9

比例区は **中道** とお書きください!